

「京都の人は箸を逆さに立てたりするんですか？」

平成 28 年 7 月 5 日

●熊五郎さんからの質問

西田昌司議員、いつもありがとうございます。少し殺伐とした雰囲気が続いたので、ボケた質問を。私の知人に京都出身の方がいます。最初会った時から、どことなく東京人離れしたところのある人だな、と思っていたら、京都の方と知ってなるほどと思いました。そこで質問ですが、噂では京都において、長居の客人には、お茶漬けを出したり、箸を逆さに立てたりする、と伝え聞きますが、西田事務所京都でも実際にその様なことが行われるのでしょうか。そうだとしたら見てみたい気もしますが如何でしょうか。梅雨の鬱陶しい時期ですが、ご自愛専一にて、ご活躍下さいませ。

●西田昌司の答え

お茶漬けは京都弁でぶぶ漬けとも呼ばれますが、京都で他人の家を訪問した時に「ぶぶ漬けでもいかがですか？」と勧められたり出されたりしたら、それは暗に帰宅を催促しているのだ、という話がありますが、実際にそのようなことは行われていないでしょう。同様に、逆さ箸で長居する客を帰らせるなどはテレビドラマでしか見たことがありませんし、これらは都市伝説なのではないでしょうか。

ちなみに、京都人は厚かましい人が苦手ですし、ぶぶ漬けを持ち出すような来客はそもそもそうはいないと思います。京都では自己主張ばかりして相手を慮らないような人は嫌われますが、京都人の一人である私が「あんたの発言はとても京都人の発言には思えない。好き放題言ってるじゃないか！」とお叱りを受けることもあります。しかし、私も京都人として厚かましい態度は慎んでいるつもりですし、これでも結構気を遣っています。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>